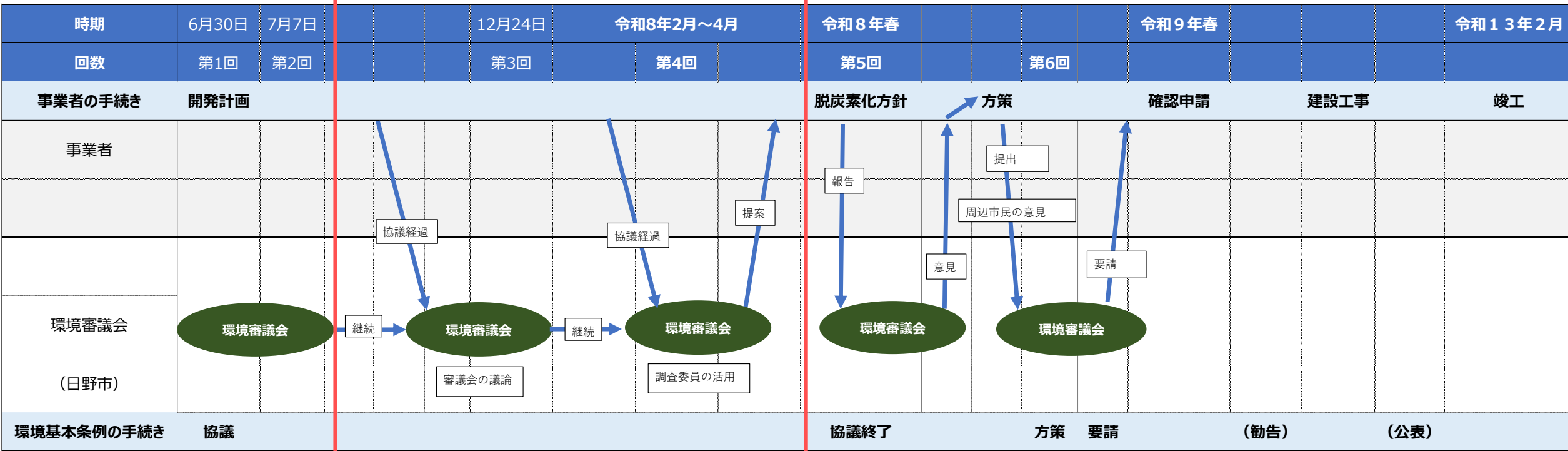




日野市環境審議会

イメージ図



- 第1回 市民の申出と開発事業事前協議
- 第2回 市民の申出と開発事業事前協議
- 第3回 環境審議会内でデータセンターへの提案を議論
- 第4回 有識者を招き、環境審議会の提案を決定
- 第5回 事業者の方針を踏まえ、意見
- 第6回 環境に配慮した事項を記載した方策を受け、要請



データセンターの開発概要

土地所有者	三井不動産株式会社
場所	日野台 3 丁目 1 番32~34、 日野台 4 丁目31番1、2、5
面積	敷地面積：114,037.24m ² 建築面積 34,500m ² 延床面積 134,600m ²
用途地域	工業地域・第一種低層住居専用地域
建物	3 棟 うち 2 棟 最高高さ72m 幅91m 奥行き143m 地上 6 階建て うち 1 棟 最高高さ50m 幅91m 奥行き143m
工事着手予定日	2026年10月



主に懸念とされている点（市民の申出概要）

申出件数：37件（令和8年2月24日現在）

申出を分類

排熱 19件

（屋上からの排熱、放射伝熱や輻射伝熱、シミュレーションの公開）

非公表 16件

（主に電力消費とCO₂と排熱について秘匿性を理由にデータを公開しない）

騒音 10件

（解体工事の騒音、冷却器による運行時の24H騒音、非常用発電機の騒音）

電力 8件

（市民生活への影響、電力消費によるC・2排出）

CO₂ 9件

（電力は再エネ100%を、市の計画との整合性を）

その他に景観（高さ）、日影、風、電磁波、地下水、振動、土地価格、低周波など

※複数の内容が記載されているため、分類総数は申出件数と一致しない



提案のイメージ

Point

これまでの議論を踏まえ、「市として事業者に提案すべき」
事項を環境審議会として議論

フロー

環境審議会

意見

環境審議会として
事業計画への意見

日野市



提案

市としての提案

開発事業者



【任意事項】

- 事業者の裁量・企画部分
- 事業者が主体的に取り組む事項
EX:目標値の具体的達成方法

【要請事項】

- 強制出来ないが、実現すべき項目
- ビジョンや方向性の共有
EX:環境データの要請、環境負荷の少ない排熱処理

Point

【要求事項】

- 遵守すべき基準値、規制値
- 裏付けのある目標値の設定
EX:騒音規制法遵守、PUE1.3以下

一部
指導
済



前回の意見と対応

気候変動対策・電力関連

意見	対応
・ ZEB認証を取得するなど、建築物の省エネ性能を確保していただきたい	・ 掲載 建築物の省エネ性能向上に関する記載を追加
・ 再生可能エネルギー100%利用	・ 掲載 再生可能エネルギーの利用について提案
・ 建設時の輸送等も含めたライフサイクルアセスメントの実施を求めていますどうか	・ 掲載 ライフサイクルアセスメントやscope 3の公表を提案
・ 非常時に地域へ電力供給することは出来ないか。	・ 検討 周辺市街地の現況も踏まえて検討



前回の意見と対応

排熱

意見	対応
・ 排熱シミュレーションの提示	・ 掲載 シミュレーションの可能性について言及
・ 廃熱利用の構想を要求したい	・ 掲載 検討事項として提案
・ 稼働前後の暑さ指数（気温・湿度）の継続的測定	・ 掲載 自主アセスメントの一例として提案
・ 水冷・液冷・液浸などの具体手法を提案	・ 見送り 具体の手法は事業者任せ、審議会としては達成してほしい目的を定めるべき。手段を限定しないことで、新技術の導入を阻害せず、排熱抑制という目的が最大限達成できることが期待される
・ 水消費量データの開示	・ 掲載 情報提供の一例として要請



前回の意見と対応

生活環境・生物多様性

意見	対応
・建設や排熱が周辺の緑地や生態系に与える影響のモニタリングが必要。	・掲載 自主アセスメントの一例として提案

生活環境・景観（高さ）

意見	対応
・地下化の提案はできないか	・掲載 高さの再検討において一例として提案

生活環境・騒音

意見	対応
・非常用発電機（重油燃料）が、定期点検等で発生させる騒音、煤、PM2.5、臭いを懸念。火災や燃料漏洩時のリスクの懸念が高い。設置場所や燃料保管場所の情報開示	・掲載 情報提供の一例として要請



前回の意見と対応

公害対応

意見	対応
・市のHP等での掲示で周知できないか	・見送り 個別事業に関する情報の周知方法について検討

環境アセスメント

意見	対応
・一番最初に「基本情報の開示」を明記し、その次に「自主アセス」関連の項目を掲載する。 ・原案の2点目を削除し、1点を「調査・予測・評価を行い、保全措置を検討の上、公表すること」とする。	・掲載 左記のとおり、提案事項を整理
・コンプライアンス項目を配置してはどうか	・掲載 コンプライアンス（法規制）に係る情報開示と、自主アセスを区別
・スコーピング項目として騒音・大気・熱環境・高さ・水資源・交通等を挙げる方向を提案したい	・掲載 提案事項として追加



その他

意見	対応
<ul style="list-style-type: none">・ 議論の前提となる基本データを早期に開示するよう、強く要求すべき。・ 提案には、「まず情報を出すこと」を柱として盛り込むこと	<ul style="list-style-type: none">・ 掲載 冒頭に情報開示の項目を追加
<ul style="list-style-type: none">・ 法に則る部分に加えて、法によらない情報についても、協働として対話を展開できないか	<ul style="list-style-type: none">・ 掲載 冒頭に情報開示の項目を追加
<ul style="list-style-type: none">・ 協定というかたちで合意内容を取り結ぶことは出来ないか	<ul style="list-style-type: none">・ 検討 提案事項に関して、合意形成を図ることが出来るのか
<ul style="list-style-type: none">・ 事業者を審議会に招聘し、直接対話を求めるべき	<ul style="list-style-type: none">・ 検討 次回以降の環境審議会での招聘を検討